



2020年ビジョン ~私たちのありたい姿~
助けあい、支えあい、ともしつくるくらしの安心

くらしの情報誌／ハローコープ

春号
No. 138

2014.4月発行
(第5回発行)
いわて生協



特集 東日本大震災から3年

あの大震災を忘れず、伝えていこう!
できることを続け、つながっていこう!

●これいいね! ラブコープ商品 アイコープチキンナゲット ●役立ちレシピ 朝食メニュー



5名様にプレゼント!



復興へ!

産直真崎わかめ生産者 ^{あおのたき} 田老町漁協青野滝養殖組合のみなさん ●宮古市田老●

必死で復旧作業と養殖作業にあたり、震災の翌年の2012年春、産直真崎わかめの収穫を再開。再開3年目の今年も、3月17日から無事に収穫がスタート。「今年は3月に入っても寒くて成育は遅めだったけど、品質は最高! わかめはヘルシーだし、どんな料理にも合う。みなさん、どんどん食べてくださいね!」と組合長の山本泰規さん(前列右)。※9・11ページもご覧ください。

「産直真崎わかめ」と真崎わかめなどを原料に使用したアイコープ商品詰め合わせ(2,000円相当)

「表紙プレゼント係」と明記し、17ページ下の応募方法・あて先を参照の上、ご応募ください。応募締切は5月20日。



朝

食

メニュー

パッと手早く！

いつものトーストにひと手間プラス！

野菜のせトースト

やよい 碁石称生さん（久慈市）

●材料／2人分

食パン6枚切…………… 2枚
A アボカド…………… 1/2個
トマト…………… 1/2個
玉ねぎ（電子レンジで軽くチンして）… 1/4個
ピーマン…………… 1/2個
B マヨネーズ・塩…………… 各適量

●作り方

①Aの材料を細かく切る。
②①をBで和える。
③食パンを焼き、②をのせる。
●1人分269kcal
※忙しい朝に、野菜もいっしょに
パクッ！



いわて生協オリジナルの食パンたち♡

バナナトースト

吉田美由紀さん（大船渡市）

●材料／2人分

食パン6枚切…………… 2枚
広東バナナ…………… 小2本
バター、ピザ用チーズ…………… 各適量

●作り方

①食パンにバターを薄くぬる。
②バナナを5mmくらいの厚さに切る。
③①に②とピザ用チーズをのせ、オーブントースターでチーズが溶けるまで焼く。

●1人分304kcal

※火を通したバナナはさらに甘くておいしい♡でも、やけどに注意！



皮は黒くても、
中の実は意外な
ほどきれいです。

安全・安心

かんたん
広東バナナ

- 全国12の生協が共同で取り扱う農産不散布バナナ。
- “台湾バナナ”と同じ亜熱帯気候の中国広東省で栽培するので、甘味もうま味もたっぷり！

和風の朝ごはんに！

ごしき 五色納豆

本田香織さん（盛岡市）

●材料／1人分

納豆……………1パック（40g）
ほうれん草・ハム・チーズ・焼のり……
……………各適量

●作り方

- ①ほうれん草はゆでて水を切り、みじん切りにする。
- ②ハムとチーズは納豆と同じくらいの大きさに切る。
- ③納豆に①、②、付属のたれ、ちぎった焼のりを加え混ぜる。

●1人分約135kcal

※ほうれん草のほか、緑の野菜なら何でもOK！納豆が苦手の人にもおすすめ！

なめ茸入り卵焼き

佐藤悦子さん（盛岡市）

●材料／2人分

産直さくら卵……………2個
コープなめ茸……………大さじ2
みりん……………大さじ1弱
長ねぎ（みじん切り）……………少々
サラダ油……………適量

●作り方

- ①卵を割りほぐし、このほかの材料を加えてよく混ぜる。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、①を1/3量ずつ流し込み、卵焼きを作る。

●1人分161kcal

※みりんだけで味が決まります！

産直さくら卵

さくら色の殻、しっかりした黄身とこんもりした白身が特長。浅沼養鶏場との産直品。



コープなめ茸でもう一品！

ご飯となめ茸のピザ風

佐藤幸子さん（盛岡市）

●材料／1人分

ご飯……………1膳分
コープなめ茸……………大さじ1
産直さくら卵……………1個
バター・ピザ用チーズ……………各適量

●作り方

- ①ご飯、なめ茸、卵を混ぜ合わせる。
- ②フライパンにバターを軽く熱し、①を入れて丸くのばし、ピザ用チーズをちらす。
- ③ふたをしてチーズが溶けるまで蒸し焼きにする。

●1人分415kcal

※好みでケチャップ・マヨネーズなどをかけて！娘が高校生の時、よくリクエストされました。



募 集 親子で作る夏のランチ&デザート

次号（7月発行予定）は「親子で作る夏のランチ&デザート」です。夏休みに親子で作れるランチ&デザートのレシピを大募集！料理名・材料・分量・作り方・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、いわて生協広報室（あて先は17ページ）へお送りください。掲載の方に薄謝進呈（500円相当）。締切は5月20日。

●過去に紹介したレシピを、いわて生協のホームページ上でご覧になれます。HELLOコープのバックナンバーか「お料理レシピ」をクリックしてね！

私がコープ商品・産直品の
魅力を発信するよ!



ラブコープキャンペーン
キャラクター ラブコン

こだわり品質
coop

チキンナゲット(冷凍)

250g 本体価格 **284円**
(税込 306円)



地元のを地元で食べよう! サクッとジューシーなチキンナゲット

2月に発売した「アイコープチキンナゲット」。もう、おためしになりましたか? 原料に岩手県産鶏肉を使用し、岩手県内のメーカーで製造した、サクサクの衣&鶏肉のうまみたっぷりでおいしいチキンナゲットです。産地と製法にこだわって開発したこの商品をみんなで利用しましょう!

温め方

カンタン調理で!

- 電子レンジの場合は、凍ったままラップをかけずに2個当たり1分10秒加熱。
- オーブントースターの場合は、天板にアルミホイルを敷いて予熱しておき、凍ったまま2個当たり約7分加熱。

衣がさらにサクッと!

- 170℃に熱した油で、凍ったまま約3分揚げると、衣がさらにサクッと!

豆知識

「チキンナゲット」って?

鶏肉をミンチにして丸め、小麦粉が主体の衣をつけて揚げたもの。

「アイコープチキンナゲット」は鶏のどの部位を使っているの?

むね肉だけを使用。良質なタンパク質が豊富で、脂が少なくヘルシーな部位です。



製造委託メーカーの開発担当者にお話を聞きました。

商品開発課係長

伊藤 智実さん



(株)岩手チキン工房 (紫波町)
1989年創業。徹底した衛生管理と安全管理、品質管理に定評があります。唐揚げやチキンナゲットなど鶏肉の加工品を製造。

地産地消をすすめる商品

一番こだわったのは、県内の生産者が飼育した鶏のむね肉を使うことでした。

いわて生協さんの「産直若鶏」

の提携先である十文字チキンカンパニー（二戸市）と契約している生産者が、徹底した衛生管理のもとで飼育した鶏を使っています。だから、安心して食べていただけますし、私どもの工場（紫波町）で製造しているの、地産地消を推進する商品でもあります。

鶏肉のうま味を味わえる製法にこだわりました

もうひとつのこだわりは、製造方法です。不必要な添加物を使わないのはもちろん、肉感を残すために水分やパン粉などの混ぜ物をするだけ抑えています。また、フライ工程にもこだわりがあるんです。

それは、「二度揚げ製法」。外は

サクサク、中はジューシーな肉感に仕上げました。

まずは、そのまま

食べてみて！

しっかり味がついているので、パンに挟んだり、卵でとじて親子丼風にして食べてもおいしいです。でも、まずはそのまま食べて、サクサクの食感と鶏肉のうま味を味わってほしいです。ほかにはない、鶏肉本来の味を楽しめるナゲットですから！また、冷凍なので、ストックしておくといつでも使えて便利です。

地産地消に貢献でき、原料や製法にこだわって作ったこの商品を、ぜひ一度おためしくださいね！

アイコープチキンナゲットができるまで

ミキシング

ミンチした鶏肉に調味料で味付け。



成型

成型機でナゲットの形に打ち出す。



衣付け

2種類の衣を2回に分けてつける。



フライ

初めに軽く揚げ、蒸気で蒸したあと、再度揚げる。



二度揚げでサクッとジューシーに！

冷却・急速凍結

計量・包装



こちらもあるよ！

co-op 国産若鶏のチキンナゲット

300g 本体価格 **284円** (税込 306円)



衣はふんわり＆しっとり。原料に国産若鶏のむね肉を使用。

ロゴマークの違いは？



いわて生協が開発した商品



生協の全国組織である日本生活協同組合連合会が開発した商品。

私たちの「声」が「表示」にいかされています



阿部 亜由子さん (釜石市)

アレルギー体質の子どもを持つ人は、商品パッケージの「原材料表記」をしっかりと見てから買い物していますよね。開発途中で釜石コープで試食したとき、「パッケージのおもて面にアレルギー表記を」という声が出され、それがいかされました。「生協ならではの」ことですね。このチキンナゲットは、味もおいしいので、お花見や運動会のお弁当にぴったりですよ！

包材のおもて面に大きく7大アレルギーを表示

卵	乳	小麦	えび	かに	そば	落花生
●	—	●	—	—	—	—

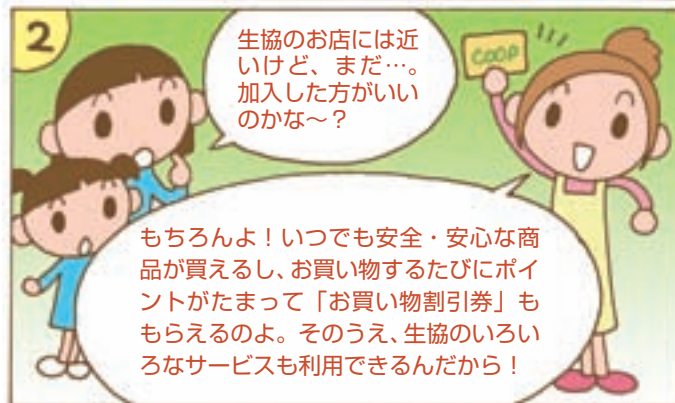
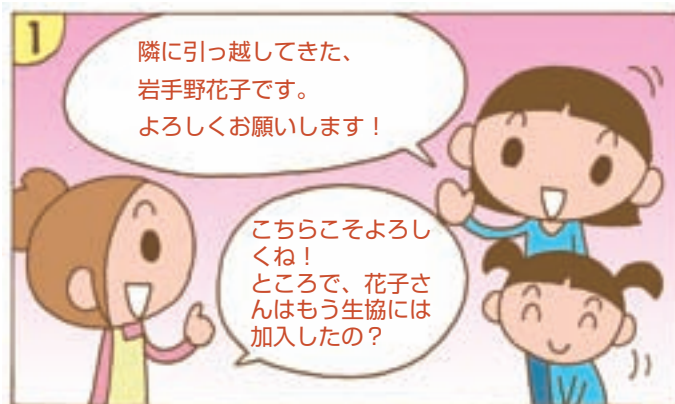
「●」は使用しているアレルギー。「—」は不使用。その他のアレルギー物質は別途記載しています。



生協組合員になっちゃお!

新生活を始めたあなた! いわて生協に加入しましたか?

いわて生協に加入すると、安全・安心な商品はもちろん、いろいろなサービスを利用できます。また、組合員みんなで安心して暮らせるよう子育て支援や高齢者見守り活動などにも取り組んでいます。お店で加入した方には、コープ商品をお得に利用できるクーポン券をさしあげています。生協に加入するなら、今ですよ!



生協に加入するといっぱい!

お得なポイントサービス

600点たまると300円分の「お買い物割引券」をプレゼント!

- お買い物100円(本体価格)ごとに1点
- お買い物1,000円(税込)以上でレジ袋を節約(辞退)すると、5点
- 1か月に3万円(本体価格)以上利用すると100点
- 毎月、ポイント5倍デーを実施!
- 使用済み揚げ油(500mlペットボトルに入れて)をお店に出すと2点

「組合員カード提示」でお得がいっぱい!

組合員カード提示で、優待価格で利用できる商品があります。
(「コープチェリオ」のぞく)

生協以外のお店でも!



5%引きに!



10%引きに!

ゆうびん 盛岡

振袖のレンタル・購入が10%引きに!



「アート不動産」で契約成立すると3,000円分のコープ商品券または共同購入商品値引券をプレゼント!



日帰り入浴大人料金が100円引きに! 施設についてはお問い合わせください。

お問い合わせ先
住まいと暮らしのサービスセンター ☎ 0120-879-300へ!



新しく加入した方に、人気のコープ商品「おためし品」をプレゼント中/さらに、コープ商品8品がそれぞれ50円引きになる「ウェルカムクーポン」も差し上げています。

総額 **400円** お得!

いわて生協全店(盛岡5店舗、滝沢1店舗、宮古4店舗、奥州1店舗、一関1店舗、八幡平1店舗の計13店舗)でご利用いただけます。

私もさっそく加入しました! 柏山優子さん(八幡平市)

新しくベルフ八幡平がオープンして、自宅から近かったので加入しました。仕事をしているので、夜10時まで営業しているのはとても助かります。それに、焼き立てパンや新鮮なお魚が買えるところも気に入っています!



生協は組合員みんなでお金を出し合い、利用・運営する組織です

加入の手続きはカンタン! お店のサービスカウンターへどうぞ!

出資金1,000円以上で加入して、毎月500円の積立増資にもご協力ください。

2011年3月19日、金石市での「移動販売」。



被災地の組合員からの「地元のスーパーが崩壊して買い物に困っている」の声にこたえて、2011年3月19日～4月2日に120か所で「移動販売」を実施。3,300人の利用がありました。

2011年3月23日、山田町での「豚汁炊き出し」。



「避難所にいる人たちに温かい食事を」と、2011年3月19日～4月10日に75か所で「炊き出し」を実施。全国の生協の支援もうけて、豚汁・牛丼のほか、うどんやせんべい汁など、3万970食を提供しました。



特集 東日本大震災から3年

あの大震災を忘れず、伝えていこう！ できることを続け、つながっていこう！

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から3年が過ぎました。震災で亡くなられた方々、いまだ行方不明の方々、そして震災後のきびしい暮らしの中で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

岩手県内では、現在も3万4千人が仮設住宅での不便な生活を余儀なくされています。なかなかすすまない復興に、被災地ではくらしや将来への不安が広がり、仮設住宅でのくらしが長引く中で心身の健康を崩す方も増えています。

いわて生協は、大震災の直後から、組合員活動と事業の両面で、被災地の支援と岩手の復興に全力をあげて取り組んできました。4年目の2014年度も引き続き、多くの組合員のみなさん、県民のみなさんと力をあわせ、被災地の復興支援に取り組んでいきます。

岩手県の被害

死者	4,672人
行方不明者	1,142人
震災関連死	434人
建物被害	4万4,259棟
仮設入居者数	3万3,699人
沿岸の人口	25万1,941人
(震災前より2万996人減少)	

※死者、行方不明者は2014年2月28日岩手県発表より。その他は2014年1月31日岩手県発表より

2011年3月20日に撮影。



陸前高田市では、街がまるごと津波にのみこまれました。

同じ場所から、2014年2月28日に撮影。



街の再建にむけて工事がすすめられていますが、まだまだ更地が目立ちます。



バスボランティア100回目を迎えた2013年7月13日は、陸前高田市で記念の植樹。いわて生協からの60人のほか、大阪・奈良・石川の4生協から40人のボランティアが参加しました。戸羽市長にも植樹をしていただきました。

東日本大震災の発生から3年の歳月が流れました。これまで、全国各地のたくさんの方々から温かい励ましやご支援を継続していただいていることに、心より感謝申し上げます。



陸前高田市市長
戸羽 太さん

「絆」を大切に 生協や全国のみなさまとの

沿岸で最も被害の大きかった陸前高田市。復興にむけてのメッセージをいただきました。

本市の復興状況につきましては、「震災復興計画」に基づきながら、各種復興事業がスタートしており、ようやく復興が目に見える形になってきたところでございます。

いわて生活協同組合のみなさまには、市内において移動店舗「こちゃん号」の運行や炊き出し、ボランティアなど幅広い活動を実施いただきまして、あらためて感謝申し上げます。

仮設住宅での厳しい生活に耐え、一日も早い復興を願う市民の思いをしっかりと受け止めながら、これまで以上に復興を進めていかなければならないと強く感じているところでございます。被災者の生活再建や市街地・被災地域の復興はもとより、地域産業の再生と発展をめざし、「だれもが住んでみたいと思う、心豊かに安心して暮らし、安定した生活ができるまちづくり」をいわて生活協同組合のみなさまをはじめ、これまでの全国のみなさまとの「絆」を大切にしながら全力で取り組んでまいりますので、末永いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「自分にできる支援を」との思いを、ボランティア活動に

ふれあいサロン

「少しでも“ほっ”とする時間を持ってほしい」と、2011年6月、陸前高田市の避難所からスタート。現在は、被災地の6市町村で64の仮設・地域を対象に、41会場で毎月54回開催。内陸では2店舗で月2回開催しています。2013年9月からは、関東甲信越地域の18医療生協からの支援参加もあり、健康チェックや軽体操の指導が大変喜ばれています。



宮古市宮町あゆみ公園仮設団地でのふれあいサロン。「懐メロかるた」でみんな笑顔に。

	開催	参加人数	ボランティア人数
2011年6月～2014年2月	1,113回	11,025人	4,760人

コープ・ボランティアセンターの活動

「被災地に行ってボランティアをしたいけど個人ではなかなか行けない…」という声にこたえて、2011年6月にコープ・ボランティアセンター（CVC）を開設。2013年度も大槌町や陸前高田市で遺品探しや花壇づくり、「菜の花プロジェクト」への支援を実施。また、内陸でも、お振る舞い料理の食材切りなどを行っています。



正月料理のお振る舞いでは、かに鍋や餅のほか、大阪・奈良の3生協のみなさんによる「たこ焼き」も振る舞われ大変喜ばれました。



被災地に「カードを贈る取り組み」。14年2月、組合員が作った「ひなまつりカード」に沿岸福祉作業所のお菓子、メッセージを添える作業を、ボランティアが行いました。



●バスボランティア

	開催	参加人数
2011年～2013年	113回	4,563人

いわて生協の支援活動の取り組み
多くのみなさんの協力に感謝します

忘れない
伝える
続ける
つなげる

カードを贈る取り組みは年3回実施。この3年間で約2万6千人へプレゼント。

生協の支援に感謝！ 一方、風評被害は深刻

大津波で甚大な被害をうけた産直真崎わかめ生産者。今も困難は続いています。



田老町漁業協同組合
代表理事組合長
しょうめい
小林昭榮さん

震災の年は、3月12日からわかめの収穫を始める予定でした。その前日に地震が起き、大津波で何もかも流されてしまい、その状況が受け入れられませんでした。しかし、4月に入り、いわて生協がお見舞いや物資支援で何度も足を運んでくださり、「生産しなければ町も漁業もダメになる。なんとかしても復活するぞ」と前向きに考えられるようになりました。

いわて生協のみなさんには、その後も、たくさんの方の励ましと作業に欠かせない軍手やトラックまでも支援していただき、ここまでがんばってくることができました。本当にありがとうございます。

しかし今もお、放射能の風評被害で利用が完全には回復していません。県内では組合員のみなさん

のおすすめで変わらずに利用いただいていますし、いわて生協から全国へアピールしてもらったおかげで新たに取引扱ってくれる生協も増えました。しかし、関西方面での利用は激減したままで、過剰在庫の影響で、年々生産者からの買い取り価格が下落しています。一方で、船に使う燃油は上昇し、生産者の収入が減っています。また、津波で壊れた防波堤は撤去したまま。船が接岸できないため、危険かつ困難な状況での陸揚げを今年も余儀なくされました。暮らしも不安定な状況です。漁協組合員の約45%、養殖している人の約30%が、いまだに港から10kmほど離れた仮設住宅で暮らしています。震災前94あった漁家は、震災後68まで減りました。

問題は山積みですが、昨年、新たに10代の若者3人が漁家に加わりました。彼らを組合員一同で大切に育て、協同の力で困難を乗り越え、発展していきたいと思っています。いわて生協のみなさんには、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

被災メーカー・生産者を支援

3年間で6.1億円を供給

いわて生協は、震災直後から、23のアイコープ商品メーカー・産直生産者へお見舞いを行ったほか、事業再開時の備品支援や、製造再開商品・新開発商品の供給促進など、復興を応援する取り組みを、事業でも組合員活動でもすすめてきました。



「沿岸をはじめ、岩手のものをみんなで利用して復興支援を」と、滝沢・奥州・一関で復興支援・地産地消フェスタを、宮古では復興応援まつりを開催。沿岸被災地を始め多くの団体に出店いただきました。

被災メーカーに製造委託して アイコープ商品を3年間で5品目開発

この2品は古須賀商店（宮古市）に製造委託。



手作り品の販売支援

仮設住宅のグループや団体の手作り品などの販売にも力を入れ、3年間で10万2千点、2,700万円を支援。



マグネットはっと
大槌町「おちゃっこながま堤ヶ丘」

毎日の買い物や暮らしを支援

移動店舗「にこちゃん号」

いわて生協組合員の募金と全国の生協・団体の支援で、12年に3台、13年に1台の計4台を運行。現在、宮古・釜石・けせん地域の仮設団地58か所4千戸を1日おきに訪問しています。2年間でのべ13万5千人が利用されました。

お花も食べ物も移動店舗で買っています。とても助かっていますよ。
川原フヂさん



この仮設に知り合いがいま
せんでしたが、こうやって
買い物に出るとお話も
できていいですね。
小川力三子さん

大槌町吉里吉里仮設団地にて

無料お買い物バス

買い物支援の一つとして、2012年7月から「無料お買い物バス」を日本生協連からの支援金で運行。お買い物が必要な宮古市と山田町の仮設住宅と宮古市の生協店舗を結んでいます。この1年半でのべ1万400人にご利用いただいています。



1日当たりの利用は約30人。「無料はありがたい」と喜ばれています。

2014年2月に内陸12会場で開催した「被災地の現状を聴く会」。飯塚さんには6会場でお話しいただきました。

「くらし」と「心」に表れ始めた さまざまな問題



いわて生協・被災地支援担当
飯塚郁子さん
(大船渡市)

震災から4年目を迎え、「ふれあいサロン」などの支援活動を通して、これからも「寄り添うこと」の大切さを実感しています。

被災地では、復興が進まない中、自力で再建し、仮設住宅を出て行く人が目立つようになりました。「食費を切り詰めて栄養失調になった」人がいるほど、家を持つために必死に働いています。新居に入っても、知り合いもなく孤独を感じている高齢者が多くいます。一方、仮設住宅に残らざるを得ない一人暮らしの高齢者などは、出て行く人を見送るばかり。互いを思いやり、楽しいコミュニケーションを作ってきたはずなのに、次々と別れが訪れます。「喜んであげたい、でも寂しい」。仲良くしていた一家が出て行くことを直前に知り、激しく泣き、その後落ち込んで

しまったおばあちゃんもいます。高齢者の「孤独」が深まっていると感じます。また、子育て世代の母親の深刻な状況も浮き彫りになってきています。自宅を再建するためにたくさん働きたいのに、仮設団地の多くは交通事情の悪いところにあり、子どもを学校や遊び場、部活へ送迎しなくてはならず、ジレンマを抱えています。もちろん体を休める時間ありません。

そして忘れていけないのは、「家が残って申し訳ない」「誰かに会ったかどうか話していいかわからないから出かけられなかった」と、目には見えない被害をうけた住民の方々です。「誰かに会いたい・話したい」とふれあいサロンに出てきてくれるようになったのは、震災2年目の夏以降でした。

全国の企業などからの支援が激減している中で、多面的に支援活動を継続してきた生協に期待する声は高まっています。もはやサロンは、楽しむ目的ではなく、「生きる目的」となっています。だから、最後の一人になるまで、続ける意義があると思うのです。

※飯塚さんは、元理事で現監事。被災地のニーズを支援活動に反映させているほか、全国の生協へ出かけ支援を呼びかけています。

「3行レシピ集」で食への支援

「料理をする意欲がわなくて…」という声に、簡単にできる「3行レシピ」を県内のこ〜ぶ委員会から募集し作成。これまでに第2弾まで発行し、5,500部を配布しました。



「ふれあいサロン」の昼食会で活用したり、陸前高田市の保健師さんからもほしいと希望されるなど、配布と活用が広がっています。

リフレッシュツアー

久慈・宮古・釜石・けせん地域のこ〜ぶ委員会が企画し、内陸への観光や温泉バスツアーなどでリフレッシュしてもらいました。

	開催数	参加人数
2012～2013年度	62回	1,913人

復興応援文化企画

「芸術・文化にふれてリフレッシュしてもらおう」と毎年開催。けせんコープでは、2011年度「南こうせつコンサート」、2012年度「二胡などの弦楽とピアノのコンサート」そして2013年度は、これまでに仮設住宅での慰問ライブを200回以上行い「心の栄養」を届けている大阪府在住の歌手、奥野ひかるさんによるライブを昼夜2回開催。220人が来場しました。



2月28日、大船渡市リアスホールで。民謡で培った抜群の歌唱力と、爆笑トークで会場を大いに盛り上げました。



「最高!」のひと言。妻が住田でやったライブを観たことがあり、「すごくおもしろいから行こう」と誘われてきました。歌も上手だったし、話もおもしろくて本当に楽しかったです。
吉田誠悦さん

地域に元氣と笑顔を広げるために

♥ 震災を風化させないための取り組み

震災を忘れない日

2013年9月から、毎月11日を「震災を忘れない日～がんばろう岩手！ 築こう未来」として、店舗では募金の呼びかけや、復興商品・復活メーカー商品のおすすめ強化に取り組んでいます。「震災への関心が薄れつつある今こそ、震災を忘れず、地元の私たちが支援を継続していこう」との思いが、募金や商品利用の増加につながっています。



震災から3年目の同時刻、全店で黙祷を実施。また、たくさんの方から募金が寄せられました。



常設の募金箱はレジ横、サッカー台にあります。みなさんご協力ください。



被災地の現状を聴く会

震災から3年を迎え、これからも被災地を支援・応援していくことの大切さを再確認するために、内陸12会場で開催し、720人が参加しました。

10ページの飯塚郁子さんや、宮古コープ理事の香木みき子さん（写真）、「陸前高田被災地語り部」の釘子明さんにお話しいただきました。



参加者の感想

- 一つひとつのことは小さな支援ですが、それを続けて大きな支援となっているのだと思いました。
- 今日知ったことを「誰かに伝えなくては！」と思いました。今の自分にできることは、募金と商品を買いつける事。そして、商品の良さを人に伝え、利用してもらうことだと思いました。
- 話すこと、聴くこと、笑うこと、みんなで食べることの大切さを改めて感じました。早くみなさんが幸せに暮らせる日が来ることを願います。

♥ さまざまな支援活動は組合員の募金で ● たくさんの募金、ありがとうございます！

3年間で寄せられた「東日本大震災支援募金」

6,673万4,315円

(2月20日現在。日本生協連や全国の生協からの支援金を含む)

2011年5月に、2,000万円を岩手県へ義援金として贈呈。残りを「復興支援基金」として支援活動に活用しています。

※2013年度は、2014年2月20日までに986万3,162円の募金が寄せられ、2月28日までに1,660万6,020円を支援活動で活用しました。

● 3年間の「復興支援基金」活用状況 (2月28日現在) ●

被災地でふれあいサロン	2,049万6,015円
バスボランティア・炊き出し	1,481万4,082円
被災地での楽しみ企画	952万4,641円
支援物資・買い物支援	647万1,269円
被災地生協まつり・復興まつり	523万6,345円
グループ活動補助	441万8,061円
生産者・メーカー支援	268万6,298円
その他	35万9,931円
計	6,400万6,642円

復興へ！

今号の表紙

「産直真崎わかめ」は、真崎海岸の沖1km前後、外洋の潮通りがよい場所で養殖しており、「肉厚で歯ごたえがあっておいしい」と評判。また、天然の真崎わかめから採った胞子だけを使用しているのも大きな特長。震災により1漁家減り、現在は12漁家が養殖している。

田老町漁協青野滝養殖組合 (宮古市田老)

被災地に寄り添った支援を、これからも協同の力で

いわて生協 理事長 飯塚明彦

この3年間、いわて生協では、被災地・被災者に寄り添ったさまざまな支援活動を、組合員と常勤者の協同の力、そして全国の生協や団体のみならず、まわりの支援で継続してまいりました。13年度も、9万6千人が利用した移動店舗「こちやん号」や共同購入による買い物支援、被災したメーカー・生産者の商品の3億円にものぼる利用普及などを積極的にすすめてまいりました。さらに、震災直後から始めたバスボランティアは3年間で113回を数え、「ふれあいサロン」も1,113回開催、のべ4,760人のボランティアの参加で継続してまいりました。しかし、復興は大変遅れており、失ったくらしや街をとりもどすには、まだまだ時間がかかります。

いわて生協では、昨年6月の通常総代会で、「これからこそが、地元に住む私たちの支援の本番」「被災地の生協」として、これからも被災した方々に寄り添った息の長い支援活動をすすめていこう」と決意し取り組んでまいりました。だれもが安心して暮らせる日が一日も早く訪れますよう、22万人の組合員のみならず、みなさんとともに、これからも取り組んでまいります。